

4年 1 解説	整数の表し方	___年 ___組
		名前

位取りのしくみ

千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一	千	百	十	一
兆				億				万							

○右から「一、十、百、千」と4けたごとにくりかえされていますね。
「万の位」「億の位」「兆の位」と4けたごとに区切ると読みやすいです。



万ライン、億ライン、兆ラインと4けたごとに線を引くと読みやすいよ。

- 千を10こ集めた数は「1万」です。
 千万を10こ集めた数は「1億」です。
 千億を10こ集めた数は「1兆」です。

○倍で考えると

一億の10倍⇒十億といい、100000000と書きます。
 十億の10倍⇒百億 百億の10倍⇒千億 千億の10倍⇒一兆
 一兆の10倍⇒十兆 十兆の10倍⇒百兆 百兆の10倍⇒千兆
 整数は、位が1つ左へ進むごとに、10倍になるしくみになっています。



1億の100倍は100億、1億の1000倍は1000億
1億の10000倍は1兆です。

○20億を10倍した数は200億です。20億を $\frac{1}{10}$ にした数は2億です。



整数を10倍するごとに、位は1けたずつ上がります。
また、 $\frac{1}{10}$ するごとに、位は1けたずつ下がります。

3200×460のひっ算のしかたを工夫する。

$$\begin{aligned}
 3200 \times 460 &= 32 \times 100 \times 46 \times 10 \\
 &= 32 \times 46 \times 100 \times 10 \\
 &= 32 \times 46 \times 1000 \\
 &= 1472 \times 1000
 \end{aligned}$$

終わりに0のある数のかけ算は、0の部分^{はぶ}を省いて計算し、積の右側に省いた0の数だけ0をつけます。
 筆算でも、0を省いた部分からの位をそろえます。
 そして32×46のみ筆算をし0を3つつけます。

$$\begin{array}{r}
 3200 \\
 \times 460 \\
 \hline
 0000 \\
 19200 \\
 \hline
 12800 \\
 \hline
 1472000
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r|l}
 32 & 00 \\
 \times 46 & 0 \\
 \hline
 192 & \\
 128 & \\
 \hline
 1472 & 000
 \end{array}$$



0をとって計算して0をつける⇒とってつける作戦だね！